

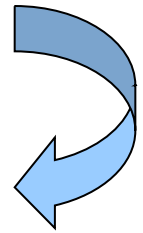
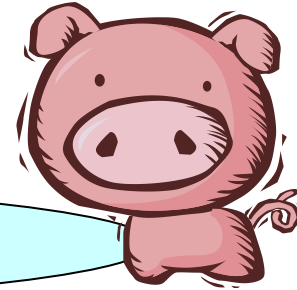
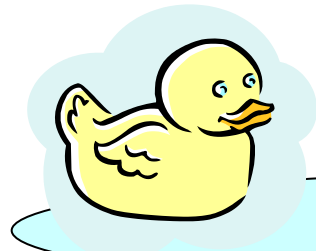
看護パワーを活かす —感染症を予防する—



熊本大学大学院生命科学研究部
看護学講座
前田 ひとみ



インフルエンザ感染の道筋

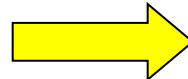


- ・ 空気流速度によって飛沫 ($>5\mu\text{m}$) は 2メートル以上飛ぶことがある
→マスク着用

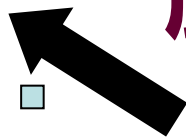
小粒径



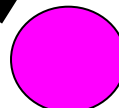
空気抵抗



風速



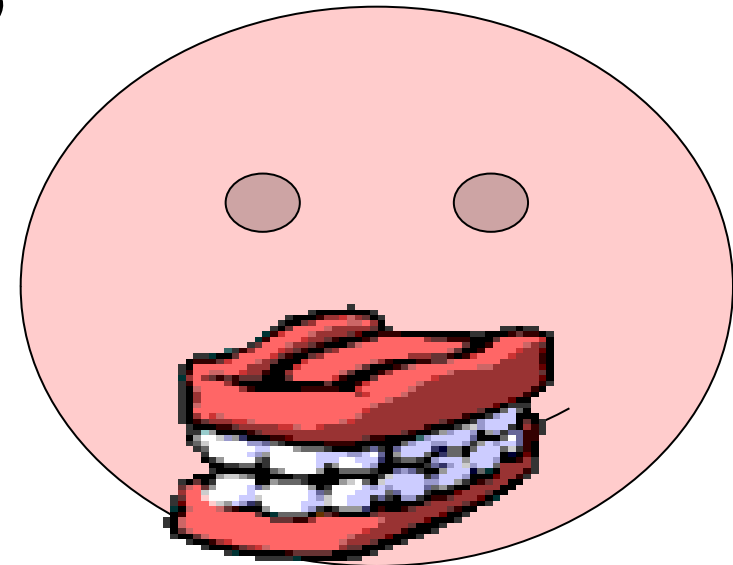
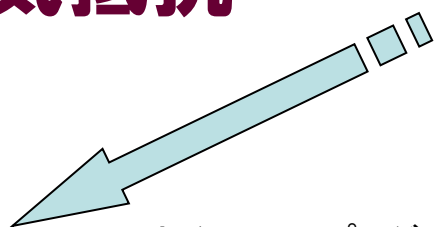
湿度



重力



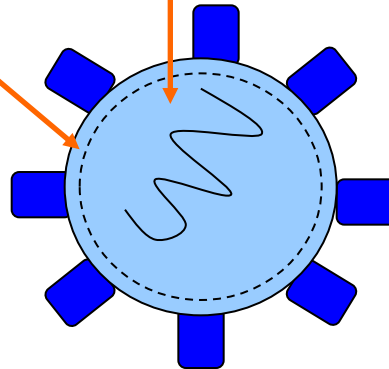
大粒径



ウイルスの特徴



- ❁ 細菌よりも小さい“微生物”
- ❁ タンパクと遺伝情報（核酸）からなる
- ❁ 感染した細胞に寄生して増殖する
- ❁ 乾燥に強い
- ❁ 熱に弱い



咳エチケット

日常の生活中でも
咳エチケットを！

- ・ 咳が出る時には、マスクを着用しましょう。
- ・ 咳やくしゃみをする時はティッシュで口や鼻を覆いましょう。
- ・ 使用したティッシュは、すぐにゴミ箱に棄てましょう。
- ・ 咳やくしゃみをした後は、必ず手洗い（手指消毒）を行いましょ



熊本大学病院の咳エチケットポスター

サイエンス・プロジェクトfor九州ガールズ！6/19講演会

常在菌とは



- 🌻 人体に日常的に生息する細菌
- 🌻 皮膚に多く生息し、繰り返し培養される菌
（表皮ブドウ球菌が主体）
- 🌻 皮膚表面、皮脂腺、毛嚢などに存在
- 🌻 完全に除去することは困難
- 🌻 病原性は低い

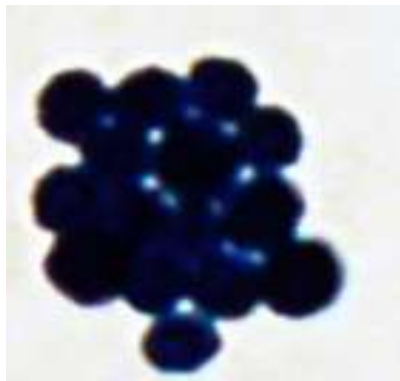
詰め替え用シャンプーの中の細菌達



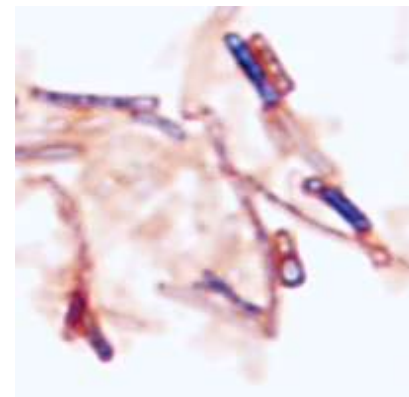
コリネバクテリウム



カビ

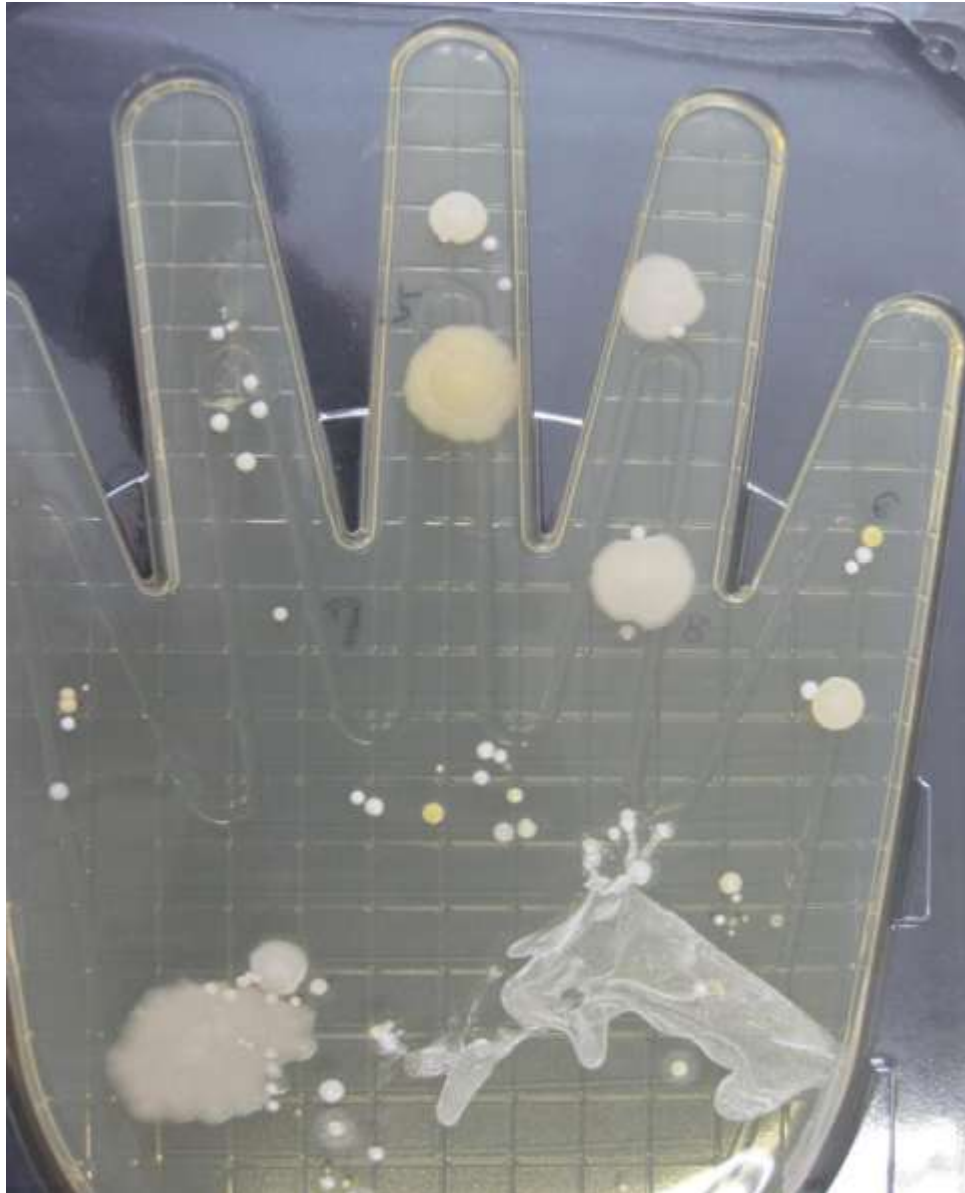


酵母様真菌



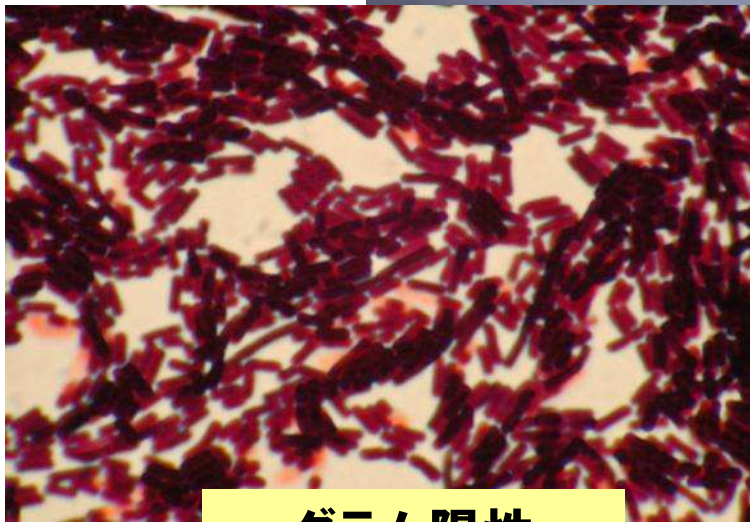
陽性桿菌(芽胞あり)

手洗い前



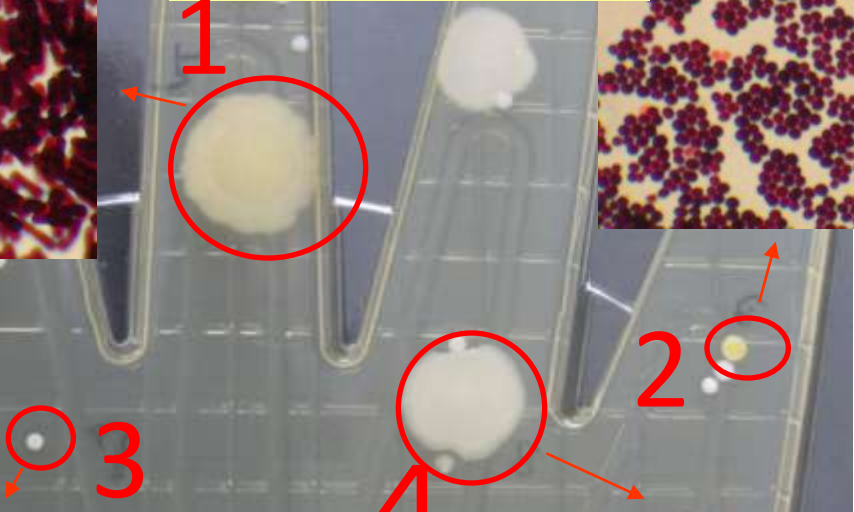
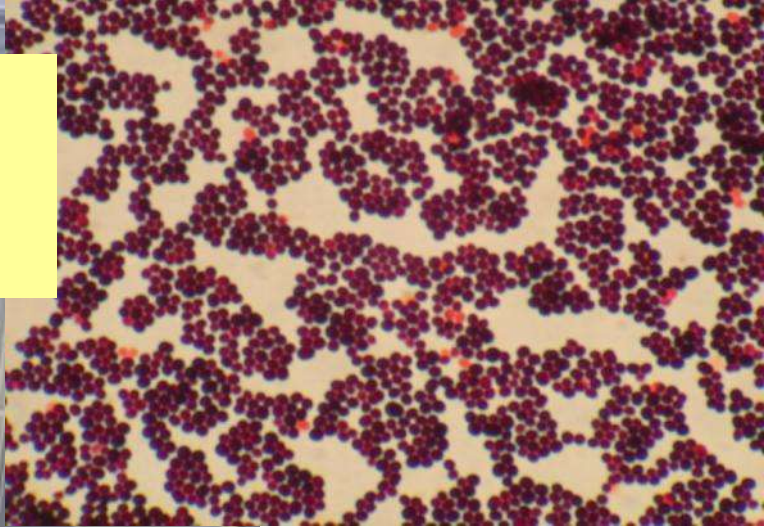
石鹸手洗い後



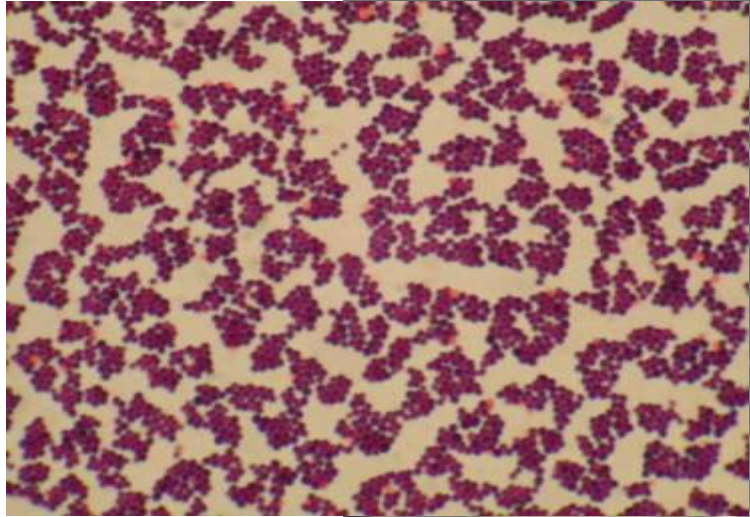


グラム陽性
無芽胞桿菌
乳酸桿菌属

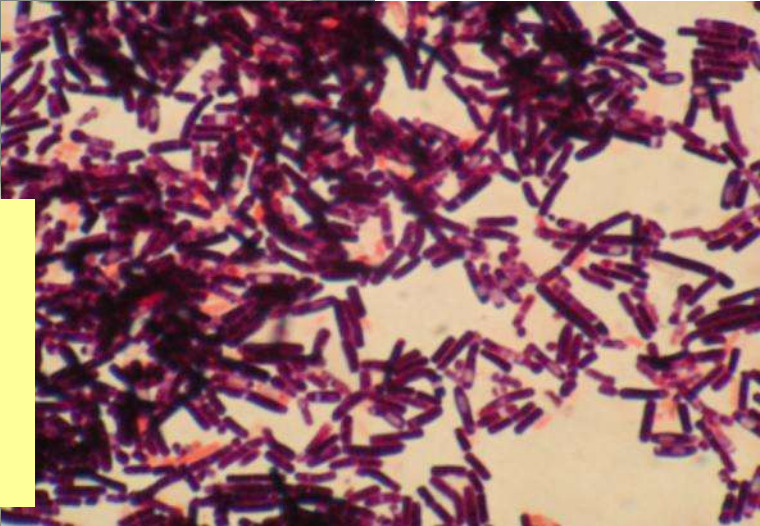
グラム陽性球菌
黄色ブドウ球菌
表皮ブドウ球菌



手洗い前



グラム陽性
有芽胞桿菌
セレウス菌
枯草菌



常在菌の役割(プラス面)



- ❁ 外来病原微生物の定着、感染を防ぐ。
- ❁ 腸管内常在菌は、食物の消化・吸収を助けたり、ビタミンを合成する。
- ❁ 腸管内に多いグラム陰性桿菌は、免疫機能を刺激、増強する。

常在菌の役割(マイナス面)



- ❁ 有害化学物質を生成し、老化や発癌にも関係
- ❁ 宿主の抵抗力が低下すると、通常は病原性がない常在菌による日和見感染を起こすことがある。
- ❁ 抗生物質を長期間あるいは大量投与すると、耐性菌が増殖し、菌交代症を起こすことがある。

一過性細菌とは



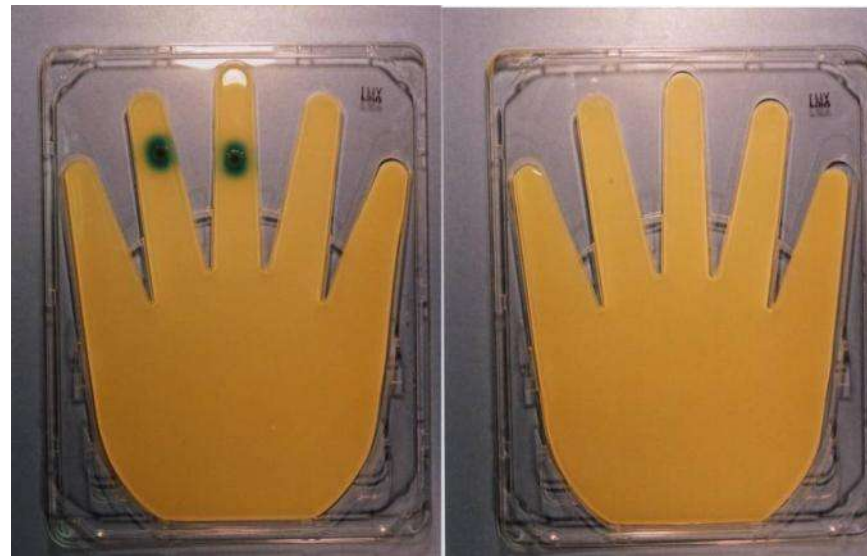
- ・患者や汚染物との接触によって皮膚表面に付着
- ・付着しても落ちやすい
- ・病院関連感染の主体

左 右

便処理後



交換後



おむつ交換に伴う大腸菌群のコロニーの変化

サイエンス・プロジェクトfor九州ガールズ！6/19講演会

手指衛生の方法



目に見える汚れがある場合
(血液・体液・
分泌物・排泄物)

**石けんと流水で
洗い流す**



目に見える汚れがない場合

**速乾性手指消毒剤
を積極的に！**



石鹸と流水による手洗い



①爪は短く切って、
時計や指輪も外す。



②まず、流水で
十分に手を濡らす



③適量の泡状石鹸を
手にとる



④石けんを手全体にな
じませ、手のひらを擦
り洗いする



⑤手の甲を擦り洗い
する



⑥指の間を洗う

石鹸と流水による手洗い



⑦ 指先を立てるよう
にして擦り洗い



⑧ 親指を擦り洗い



⑨ 手首を擦り洗い



⑩ 流水で十分に洗い
流す。手荒れ予防には
すすぎが重要



⑪ ペーパータオルで押さ
えつけるように、
水分をよく拭き取る

石鹸で15秒間以上
かけて
しっかり洗いましょう。

手指消毒



①十分な量の手指消毒薬
を手にする（2プッ
シュ）



②爪の先を手指消毒薬に
浸し、反対の爪の先にも
つける



③掌に擦り込む



④手の甲にも刷り込む
反対の手も擦り込む



⑤指の間にも擦り込む



⑥両方の爪の先にも擦り込む



⑦親指にも擦り込む



⑧手首にも擦り込み、最後に
乾燥するまで手の全体に
擦り込む

洗い残しやすい部位

